

平成24年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年9月6日

上場会社名 東和フードサービス株式会社 上場取引所 大
 コード番号 3329 URL <http://www.towafood-net.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）岸野 禎則
 問合せ先責任者（役職名）取締役常務執行役員（氏名）堀口 忠史 (TEL) 03 (5843) 7666
 四半期報告書提出予定日 平成23年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年4月期第1四半期の業績（平成23年5月1日～平成23年7月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年4月期第1四半期	2,450	0.9	143	39.8	139	45.2	62	—
23年4月期第1四半期	2,429	△8.1	102	△5.2	96	△1.5	4	△89.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第1四半期	30.49	—
23年4月期第1四半期	2.17	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年4月期第1四半期	7,425	3,585	48.3
23年4月期	7,502	3,538	47.2

（参考）自己資本 24年4月期第1四半期 3,585百万円 23年4月期 3,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年4月期	—				
24年4月期（予想）		7.50	—	7.50	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の業績予想（平成23年5月1日～平成24年4月30日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	4,850	△0.3	181	△5.2	166	△5.8	60	290.4	29.44
通期	9,700	1.6	370	16.5	350	17.7	110	235.2	53.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P 4「サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年4月期1Q	2,046,600株	23年4月期	2,046,600株
24年4月期1Q	8,490株	23年4月期	8,490株
24年4月期1Q	2,038,110株	23年4月期1Q	2,038,220株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における外食業界は、消費者の節約志向に加えて、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び福島第1原子力発電所の事故による電力不足の影響を受けた自粛ムードの広がりなど引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は「客数回復、ファンづくり」を最重要経営課題として、コンセプト「あったら楽しい」、「手の届く贅沢」を具現化するため、以下の諸施策に取り組んでおります。

当社の得意分野である喫茶・カフェでは、大型焙煎機の本格稼働により、珈琲豆自家焙煎の品質及び生産性の向上に努め、香り高い自家焙煎珈琲を椿屋珈琲グループ26店舗で提供しております。

また、喫茶・カフェに必須のケーキ、スイーツは、季節のフルーツを用いた新商品の開発、ケーキスタジオでの作りたてケーキの提供、ダッキードック店頭にてパテシェール制作の「お菓子の家」を飾るなど、お客様への訴求力を高めております。

新規出店、業態変更では、テーマ性を追求した店創りを進めております。

一店舗ごとにテーマを設定、内装、メニュー、食器、ユニフォームに至るまでテーマでまとめあげた店創りに取り組み、新規出店では、5月に、南欧をイメージした「カフェアランシア横浜店」（テーマはオレンジ色）を横浜そごう9階に、6月にはグラタン&ドリアの店「銀座ココット」（テーマは小鍋料理）をJR立川駅直結のグランデュオ立川7階に出店、どちらも順調に推移しております。

江戸をテーマとしたお好み焼き「こてがえし」への業態変更は、7月に「ぱすたかん」渋谷店及び錦糸町店で実施、1号店の新宿店と併せて3店舗となり、大江戸焼きなどの独創的なメニューの提供や接客サービスの向上に努め、お客様からご好評いただいております。

商品、販売促進面では、四季を八季に分けた季節の変化にきめ細かく対応したフェア、及びスパゲッティ食堂ドナ、ダッキードックでのスパゲッティの3サイズ（M、Lは同価格、Sは100円お引きいたします）の提供などを前期より引き続き実施しております。

以上の結果、第1四半期累計期間の売上高は24億50百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は1億43百万円（同39.8%増）、経常利益は1億39百万円（同45.2%増）、四半期純利益は62百万円（同1,304.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて59百万円減少し、20億74百万円となりました。これは、現金及び預金が79百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて17百万円減少し、53億51百万円となりました。これは、建物が減価償却等により22百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて76百万円減少し、74億25百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて62百万円減少し、16億3百万円となりました。これは、未払金39百万円、未払賞与が38百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて60百万円減少し、22億37百万円となりました。これは、長期借入金75百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1億23百万円減少し、38億40百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて47百万円増加し、35億85百万円となりました。これは、利益剰余金が46百万円増加したことなどによります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年6月13日に公表いたしました、平成24年4月期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,575,168	1,495,792
売掛金	307,136	346,456
商品及び製品	23,709	23,688
原材料及び貯蔵品	68,946	70,919
前払費用	105,605	84,752
繰延税金資産	30,231	30,231
その他	23,610	23,016
貸倒引当金	△493	△533
流動資産合計	2,133,914	2,074,323
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,237,029	1,214,302
工具、器具及び備品（純額）	143,733	136,378
土地	1,257,487	1,257,487
リース資産（純額）	327,593	345,206
その他（純額）	1,066	984
有形固定資産合計	2,966,910	2,954,358
無形固定資産	23,599	22,408
投資その他の資産		
長期前払費用	22,533	22,116
繰延税金資産	183,009	182,892
差入保証金	580,069	570,675
敷金	1,573,628	1,579,014
その他	18,918	19,937
貸倒引当金	△4	△5
投資その他の資産合計	2,378,155	2,374,631
固定資産合計	5,368,665	5,351,398
資産合計	7,502,580	7,425,722

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	227,945	237,223
1年内返済予定の長期借入金	574,300	581,300
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
リース債務	96,149	104,792
未払金	359,420	320,377
未払賞与	90,387	51,755
未払費用	72,869	45,939
未払法人税等	72,974	77,688
未払消費税等	26,173	47,175
預り金	29,096	35,524
店舗閉鎖損失引当金	13,695	—
資産除去債務	15,793	14,859
リース資産減損勘定	5,445	4,620
その他	2,045	2,045
流動負債合計	1,666,299	1,603,301
固定負債		
社債	240,000	240,000
長期借入金	1,351,916	1,276,341
リース債務	274,164	282,914
退職給付引当金	270,089	275,470
資産除去債務	98,318	99,784
長期リース資産減損勘定	2,913	2,008
その他	60,751	60,751
固定負債合計	2,298,153	2,237,269
負債合計	3,964,452	3,840,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	673,341	673,341
資本剰余金	683,009	683,009
利益剰余金	2,202,250	2,249,103
自己株式	△18,881	△18,881
株主資本合計	3,539,719	3,586,572
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,591	△1,422
評価・換算差額等合計	△1,591	△1,422
純資産合計	3,538,127	3,585,150
負債純資産合計	7,502,580	7,425,722

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)
売上高	2,429,706	2,450,516
売上原価	630,447	666,168
売上総利益	1,799,259	1,784,347
販売費及び一般管理費	1,696,366	1,640,476
営業利益	102,892	143,871
営業外収益		
受取利息	264	146
受取配当金	286	293
受取家賃	5,930	5,905
受取補償金	—	2,510
その他	3,638	3,102
営業外収益合計	10,120	11,957
営業外費用		
支払利息	14,281	13,858
不動産賃貸原価	1,440	1,308
その他	1,041	881
営業外費用合計	16,764	16,048
経常利益	96,248	139,780
特別損失		
固定資産除却損	150	2,294
店舗閉鎖損失	—	3,706
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	71,800	—
特別損失合計	71,951	6,001
税引前四半期純利益	24,297	133,179
法人税等	19,871	71,640
四半期純利益	4,426	62,139

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。